

一般質問

一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

みらい仙台

渡辺 博 議員
市長が施政方針での施策を実現するためには、職員一丸となった取組が必要である。そのためには公平公正でやる気の起る人事制度など工夫が必要ではないか。

答 意欲と能力を反映するよう係長職昇任試験制度に取り組む。また、新たな人事評価制度導入も含め、能力・実績主義の人事に配慮していく。その他の主な質問項目、産業振興と新産業創出の必要と産学官連携について、実際の想定した災害訓練の実施と他県救助隊との連携



東北大学未来科学技術共同研究センター(青葉区)

田中 芳久 議員
仙台独自の高等教育システム「リユケイオン」による高等技術者養成と世界標準となる新たな認定制度「仙台スタンダード」の創設の提案、コールセンターのグレードアップのためにより高度な教育が必要ではないか。

答 CIO職の新設とIT推進ユビキタス社会への対応ボストエITへの新産業(ゲノム・ナノ)への支援体制、魯迅先生の来仙百周年を記念した賞の創設について

民主フォーラム

岡本 章子 議員
男女共同参画推進条例への仙台市エンタープライー推進協議会の提言の実現を。

答 提言の趣旨は条例に盛り込んだが、具体的計画でも実現できるよう努力したい。その他の質問項目、外郭団体(天下りの禁止)せんだい保育室(仮称)仙台子ども家庭支援センターに利用者等の声の反映を総合防災情報システムの新たな構築を、ADHD児等指導補助、情報教育アドバイザー派遣等必要事業の継続を



防災システム(消防局防災部指令課)

安孫子 雅浩 議員
介護保険を支える上で必要な在宅介護支援センターの質的向上への具体策を伺う。

答 広報や情報提供に努め、保健福祉センターとの連携強化により質の向上を図る。その他の主な質問項目、既存の特別養護老人ホームへのユニット化改修助成を介護保険審議会の設置、地域版環境マネジメントシステムの構築とその可能性、国際センターに近接したコングレスセンターの設置を、ベガルタ仙台ホームタウン協議会と「我ら仙台市民」

自由民主党・市民会議

小池 純夫 議員
仙台市には市立美術館がないが、今後の芸術文化について、仙台市の伝統工芸発展策、賑わいのあるまちづくり、宮城総合支所にある陶芸家熊倉順吉氏の陶板の宣伝、地元芸術家を育てる方策、生活の中に豊かさを感じるための市の施策

答 錦町公園のリニューアル工事の完成時期について、仙台市主催の美術・工芸展、触れ合い・出会い・創造を大事にする市政について、芸術・文化の優れたまちづくりへの市の施策



陶芸家熊倉順吉氏の作品(宮城総合支所口ビー)

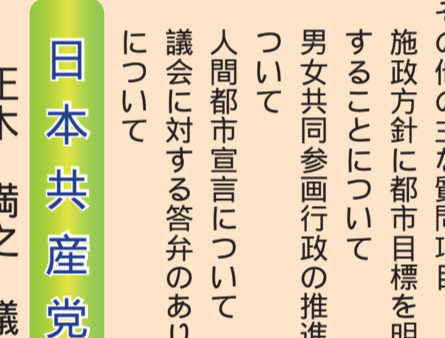
岩崎 武宏 議員
障害者の社会参加・自己実現の主要な方法のひとつである「就労」の支援を新・障害者保健福祉計画の中心に据えるべきと考えるが、市長の所見を伺う。

答 就労は障害者の自立に重要な役割を担うと認識し、新・障害者保健福祉計画の基本方針のひとつに雇用と就労の充実を位置付け、総合的な支援体制整備に努めていく。その他の主な質問項目、障害者就労支援センターの人的体制の拡充強化、企業内授産等の積極的推進

日本共産党

鈴木 康義 議員
市の条例や規則に市民が改正すべきではないか。

答 条例等で用いる「者」は人と法人をあわせ表す法律用語として広く用いられ、定着しているため、今後も引き続き使用していきたい。その他の主な質問項目、施政方針に都市目標を明示することについて、男女共同参画行政の推進について、人間都市宣言について、議会に対する答弁のあり方について



仙台市障害者就労支援センター(泉区)

正木 満之 議員
マンションを長く快適に使うため、大規模修繕工事を行い寿命を延ばす長命化の取組への支援と、マンションの耐震診断費用の有料化の再検討を求めるがいかがか。

答 今後も官民の役割分担を明確にしながら住環境の整備を図っていく。リフォームは個人の資産価値の向上を図るものでありその費用等は所有者が負担するものと考え、新年度からのマンション耐震診断士の派遣も個人の財産への助成という点から管理組合に一割負担していただく。

古久保 和子議員
新障害者保健福祉計画を推進する取組の決意と

調査特別委員会の報告

今回の定例会で報告を行った、一年間の活動の要旨です。

東西線沿線整備調査特別委員会

委員長 渡辺芳雄
本委員会は、市民協働による特色ある東西線沿線のまちづくりを調査対象とし、東西線のルート及び予定駅の現地視察や地域の代表者を参考人として招いての、まちづくりに関する意見聴取を行った。

また、南小泉小学校の児童が行った、業師堂駅周辺の将来のまちをデザインするワークショップに参加し、これも議会と意見交換を行い、これも議会から、東西線ができればたくさんの方がこのまちに来るので、よく知ってもらうため偉人や歴史をアピールし、祭りなどを行い、おもしろいからまた行きたくなるまちにしたい。など意見発表があった。



南小泉小学校でのワークショップに参加

十月には名古屋市を視察し、建設中の地下鉄及び地下鉄沿線の各種事業等を調査した。

(委員の主な意見)
まちづくりを行っていくための、本市・市民・企業の協働、また、将来の交通体系を作っていくための、東西線・南北線・JRの連携が大きな課題である。

シティーセーブルズ等調査特別委員会

委員長 相沢芳則
本委員会は仙台の持つ各分野の資産、先進的施策を内外に発信し、魅力ある都市イメージの形成と広域交流機能の向上を目的に六回開催した。委員会での活発な議論によりシティーセーブルズの資源は以下の四項目に集約された。

1 七夕まつりに代表されるイベントのあり方とさらなる観光客の誘致

2 大学との連携強化と大学が持っている財産を生かした産業や新たな雇用創出

3 ファイルムコミッション、各種キャンペーンなど、仙台系の売り込み方の工夫

4 観光展示館・博物館の具体化と情報発信機能の充実



仙台七夕まつり

(委員の主な意見)
仙台の七夕・青葉まつり・光のページェント等の祭りは全市民が参加できる参加型の祭りとするべきである。シティーセーブルズの中で大学をどう位置付け、大学は行政に何を期待しているのか、交流・意見交換が必要。

仙台港背後地整備調査特別委員会

委員長 池田友信
本委員会は、「仙台港背後地の整備に関する調査課題、方策等について」を調査事項とし、五回委員会を開催したほか、宮城県議会議員との懇談会を行った。また、神戸市を視察し、「神戸ハーバーランド地区土地区画整理事業」等について調査を行った。

(委員の主な意見)
土地利用計画の見直しの方向性を決めるために、いろいろな方法でさまざまな方から、再度意見を聞くようお願いしたい。

仙台港が物流拠点として利用されることが重要であり、そのためには、仙台空港、仙台東部道路等と一体的に考えた計画を立てることが必要ではないか。

全体計画と現在(工)しても行わなければならない事業とを区分して整理する必要があり、部分的に具体的事業を進めながらも、全体の事業の中できちんと位置付けて行っていくべきではないか。



仙台港

IT市役所創出調査特別委員会

委員長 福島一恵
本委員会は、調査対象を、仙台市行政の情報化推進について、「ITを活用した市民サービスの向上策について」とし、特に「市民生活の利便性向上とそのシステムのあり方」、「プライバシー保護とセキュリティ対策」、「デジタル・デバイス」情報格差対策を中心に調査することとした。

平成十四年十月は、大阪府カインとN.E.C.自治体ITサービスカンファレンスを視察した。平成十四年十一月には、岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授布川博士氏を参考人として招き、「ITを活用した市民生活の利便性向上とセキュリティ」について意見



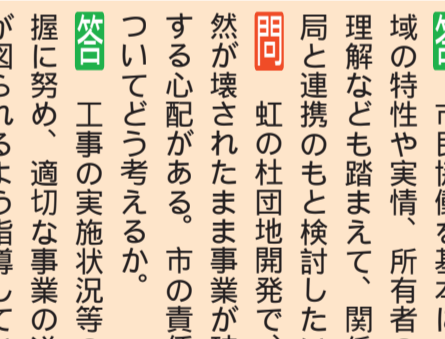
聴取を行った。

(委員の主な意見)
セキュリティの統括責任者を置き、個人情報の管理を強固にした体制を、市の業務を見直し、市民が利用しやすいサービスをITシステムにのせることが必要。

無所属

屋代 光一 議員
劇団四季が、県民会館で長期公演する今年十二月から約六カ月の間、県民会館使用希望者に市の施設を提供してどうか。

答 本来県民会館で行うべき文化活動等に他の市内の施設を提供するなど、今後とも県市協働の上で芸術文化イベントの円滑な実施に努める。その他の主な質問項目、緑化推進のため小学校学区ごとにビオトープの造成を、天然ガスの冷熱を利用したアイスアリーナを仙台港背後地に建設すべき



「明日、ボクはどうなるの」譲り受け待つ犬(動物管理センター・宮城野区)

大槻 正俊 議員
犬のフンの放置が自立っており、対策の徹底を。

答 狂犬病予防接種時等で飼主のマナー向上に向けて、より効果的な啓発に努める。その他の主な質問項目、犬・猫の処分削減対策を、言導犬などが受け入れられるやさしいまちの推進を、学校敷地内全面禁煙は、市民の十分な理解のもとに、学校部活動の充実を、映像を通して仙台を売り込む事業の成功を、秋保の観光振興の促進を、サッカー仙台カップの成功

岡部 恒司 議員
市役所全体が行政改革に取り組み中、区役所も徹底した検証を行い、職員の意識改革を進め、企画力、情報発信能力を持った区役所体制を作り上げるべきではないか。

答 市民と接する最前線にある区役所職員一人一人の不

少子化・子育て調査特別委員会

委員長 秋山幸男
本委員会は、安心して子どもを生み育てることができ、子育て環境の整備を図るために設置された。年間テーマは「学齢期における子育て支援について」とし、七月、十月、十一月、一月の四回にわたり委員会を開催した。

八月には北九州市を視察し、「仮称子ども相談センター」と「子ども館HOW?」について説明を受けた。

十一月には新田新 郎氏、宮前令子氏及び 橋本京子氏、岡本樹子氏を参考人としてお招きし、お話を伺った。

(委員の主な意見)
スクールカウンセリングについて、子どもや保護者が安心して相談できる場所の確保を考へるべき。児童館を利用して中高生の居場所づくりを早期に行うべき。子どもが生きる力を培えるように、市内の社会教育施設を有効に生かす方策を検討すべき。障害のある子どもを持つ働く母親に対する放課後ケアの充実を。



委員会視察(於:北九州市)

(委員の主な意見)
地球温暖化防止計画や自動車公害防止計画等、環境対策を進めていく上で市民の環境意識を高める取組をすすべき。

堆肥化センターで生成された堆肥の活用について農作物生産者団体などの関係団体と協議していくべき。

循環型まちづくり調査特別委員会

委員長 熊谷善夫
本委員会は、資源・エネルギーの有効利用及びごみ減量・リサイクル等を中心に調査することとし、四回委員会を開催し、北九州市の新日本製鐵株式会社、福岡市の西日本環境エネルギー株式会社を視察を行った。また、参考人として東北大学大学院工学研究科齋藤武雄教授を招き、太陽光発電及び熱発電の現状と将来の見通しについて、意見聴取等を行った。

(委員の主な意見)
分別収集されたプラスチック製容器包装がどのように再資源化され、リサイクルされているかの広報に取り



仙台市堆肥化センター(富谷町)パドル式攪拌装置

地球温暖化防止計画や自動車公害防止計画等、環境対策を進めていく上で市民の環境意識を高める取組をすすべき。

堆肥化センターで生成された堆肥の活用について農作物生産者団体などの関係団体と協議していくべき。

(委員の主な意見)
ロケ隊や観光客による直接的な経済効果や地域の活性化、映像文化の振興等を目的に、映画、テレビドラマをはじめとする各種映像作品製作のためにロケーション撮影を誘致・支援する非営利組織、現在全国に四十一の団体が設立されている。インターシップ(注7)。

(六頁二段目)
大学生等が自らの専攻、将来の進路に関連して、在学中に一定期間、企業その他で就業体験を積むための実習制度のこと。

用語解説

本文中の青文字の用語解説です

支援費制度(注1)

(一頁三段目・三頁六段目・四頁一段目)

障害のある人が自らサービスを選択して事業者や施設と契約し、サービスを利用する制度のこと。これまでは行政がサービスの利用者を選定し、サービス内容を決定する措置制度であった。

ユビキタス社会(注2)

(四頁一段目)

「ユビキタス」とは「ユビ」で「存在する」という意味。あらゆるものにコンピュータが組み込まれ、時や場所を選ばずにネットワークが利用できる社会をいう。

ADHD児(注3)

(四頁二段目)

不注意と集中力の欠如、衝動性や多動性という問題をもつ多様な子どもたちを表す医学的診断用語のこと。

環境マネジメントシステム(注4)

(四頁一段目)

事業活動が環境に与える影響を効果的に削減していくため、環境保全と経営を一体としてとらえようという考え方に立った経営管理の仕組みのこと。

ビオトープ(注5)

(四頁七段目)

「生命」を表す「bio」と「池」を意味する「top」の合成語で、元来そこにあった自然を復元もしくは創出すること。例、人工的に整備された河川を、さらに自然に近い形にする。

フィルムコミッション(注6)

(五頁三段目)

ロケ隊や観光客による直接的な経済効果や地域の活性化、映像文化の振興等を目的に、映画、テレビドラマをはじめとする各種映像作品製作のためにロケーション撮影を誘致・支援する非営利組織、現在全国に四十一の団体が設立されている。

インターシップ(注7)

(六頁一段目)

大学生等が自らの専攻、将来の進路に関連して、在学中に一定期間、企業その他で就業体験を積むための実習制度のこと。